# 学びを加速するメソッドを取り入れた授業デザイン

## 主体的・対話的で深い学びの視点を意識した学習サイクルとアセスメント

東京都　千代田区立九段中等教育学校
情報科　　須藤　祥代

Copyright © 2015 Sachiyo Sudo All Right Reserved.

# 自己紹介

- 須藤 祥代
  - 千代田区立九段中等教育学校
  - 情報科
  - ２学年担任
  - 担当科目：情報の科学（4年：高校1年）

# 本時の流れ

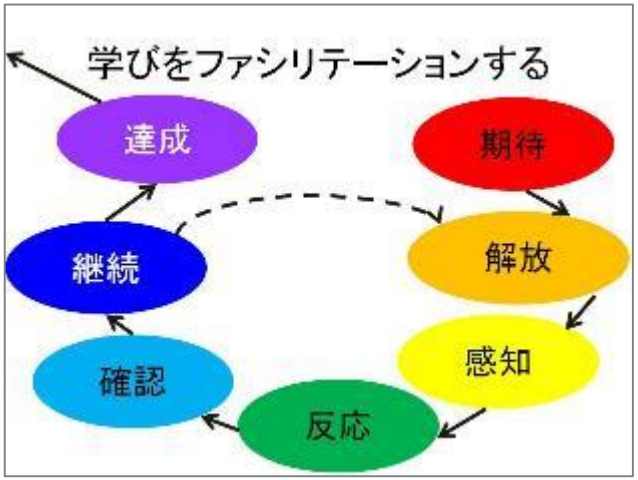
- 解放
  - はじめに
- 感知
  - 授業のデザインの改善
- 反応
  - アセスメントの工夫
- 確認
  - 振り返り

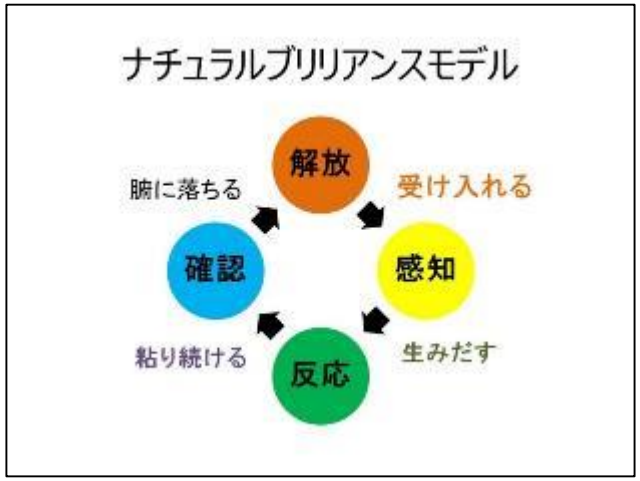
# はじめに

学び方を学ぶ
アクセラメンツ

# アクセラメンツ

- 脳機能をベースにした学習プロセスの創造



# 授業のデザインの改善

どのように学ぶのか
主体的・対話的で深い学び

# 学習指導要領改訂の方向性

## 新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
**学びに向かう力・人間性等**の涵養

生きて働く**知識・技能**の習得

未知の状況にも対応できる
**思考力・判断力・表現力**等の育成

## 何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む
**「社会に開かれた教育課程」**の実現

各学校における「**カリキュラム・マネジメント**」の実現

## 何を学ぶか

**新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し**

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

**学習内容の削減は行わない**※

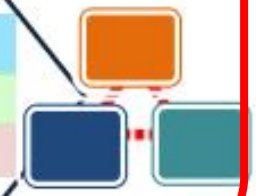
## どのように学ぶか

**主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善**

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

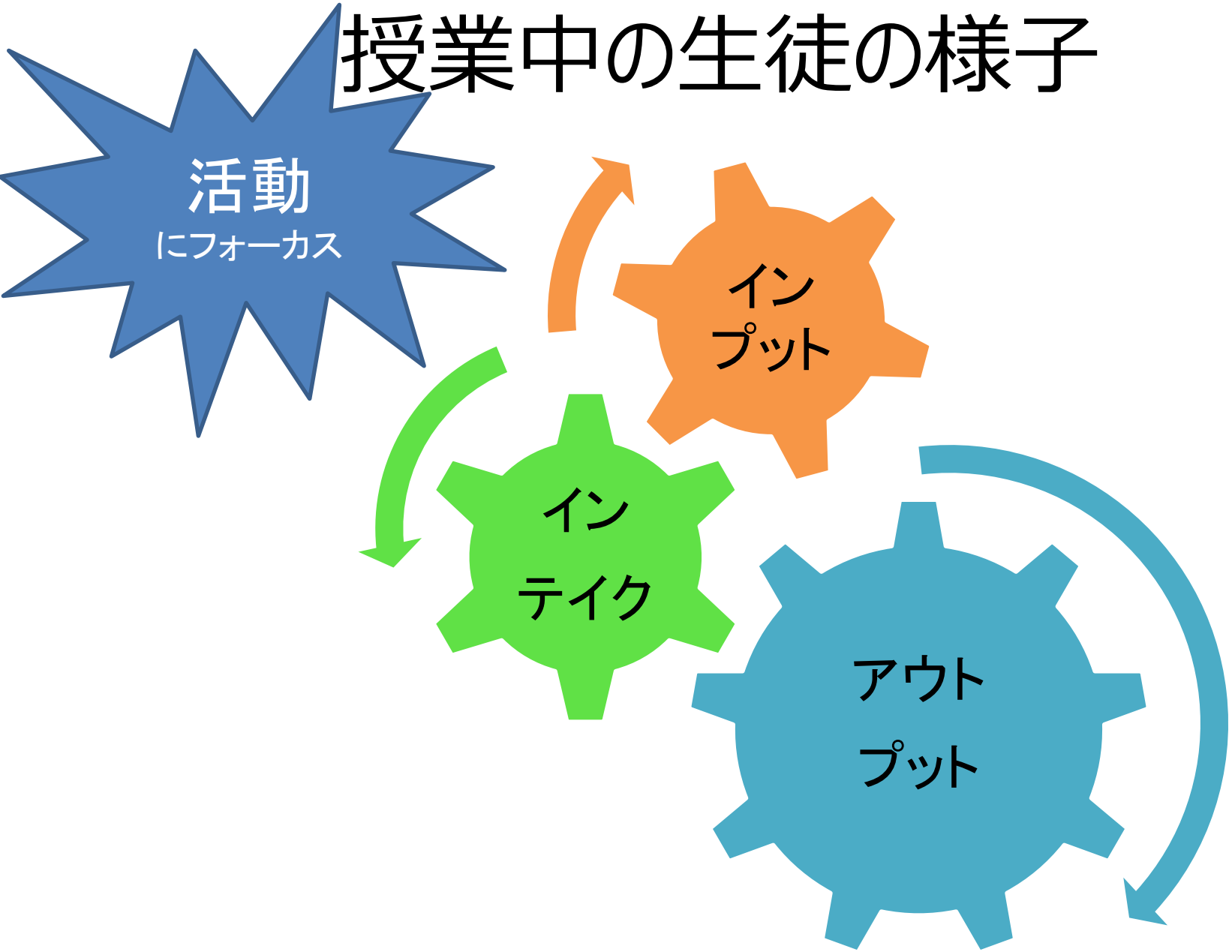
主体的な学び
対話的な学び
深い学び



# 体験してみましょうo(^-^)o

ゴム引張りっこ

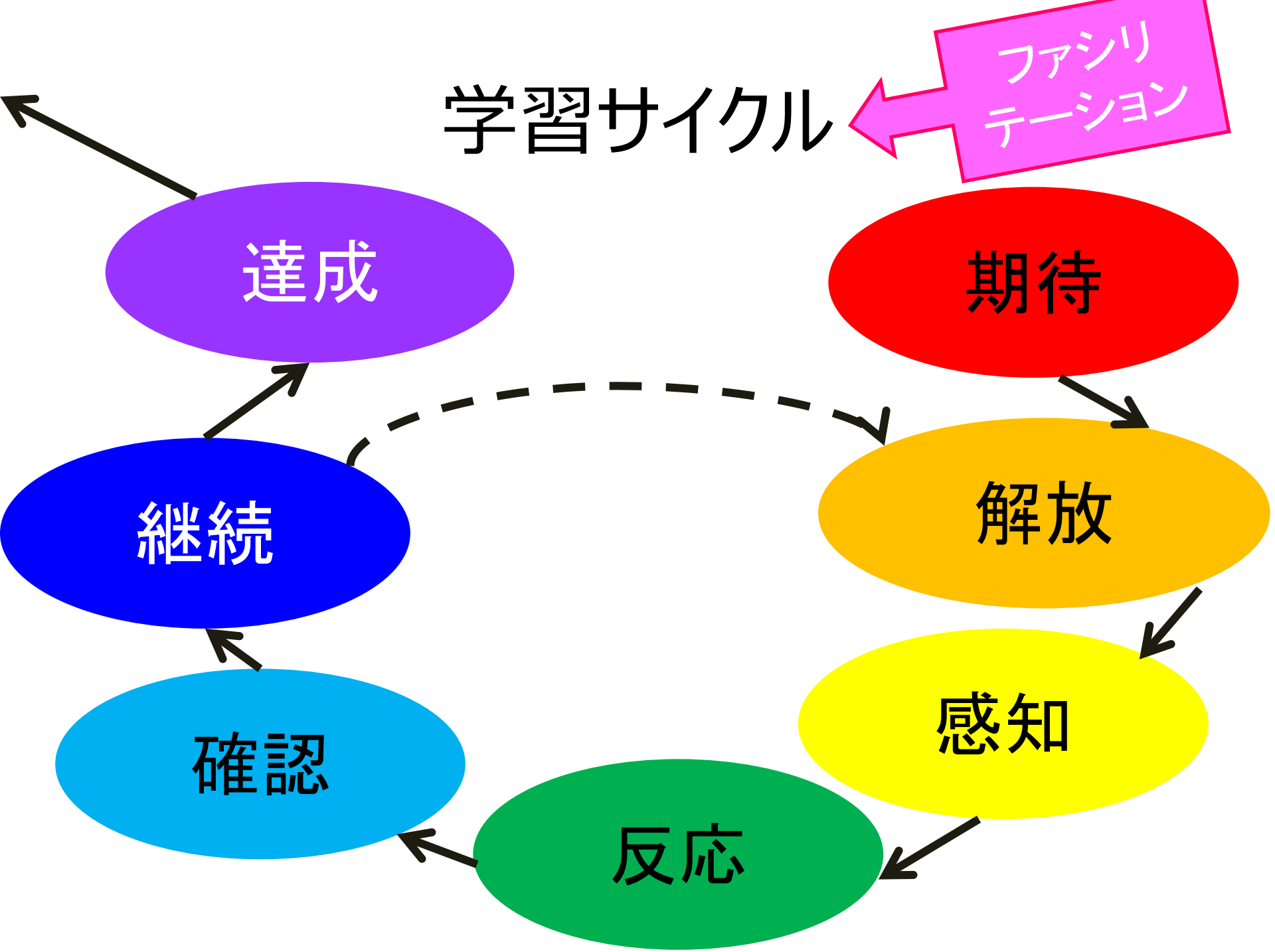
# 授業中の生徒の様子



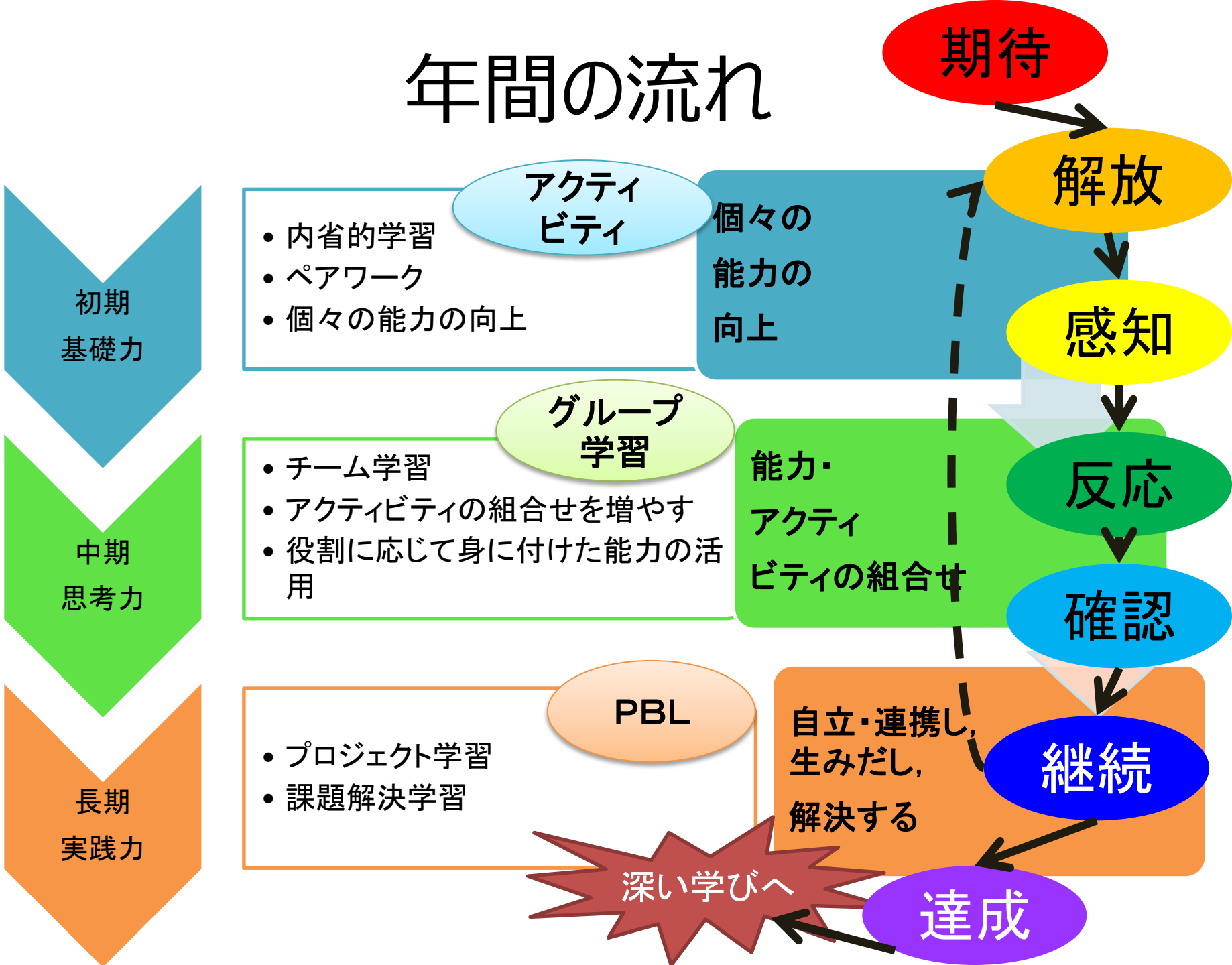
# 授業中の生徒の様子

見取り
学び方
にフォーカス
STEP1
解放
受け入れる
STEP2
感知
生みだす
STEP3
反応
粘り続ける
STEP3
確認
腑に落ちる

# 学習サイクル



# 年間の流れ


期待
解放
感知
反応
確認
継続
達成
初期
基礎力
アクティビティ
• 内省的学習
• ペアワーク
• 個々の能力の向上
個々の能力の向上
中期
思考力
グループ学習
• チーム学習
• アクティビティの組合せを増やす
• 役割に応じて身に付けた能力の活用
能力・アクティビティの組合せ
長期
実践力
PBL
• プロジェクト学習
• 課題解決学習
自立・連携し，生みだし，解決する
深い学びへ

# 授業の流れ：例

活動
にフォーカス

個人 → 単元G
- 担当ページをざっくり読む
- 気になる単語を書きとめる

インプット　インテイク

グループ → Q&AG
- ミニプレゼン
- 質問交換

インプット　アウトプット

個人　グループ → 単元G
- 回答探し
- 情報のシェア

インプット　インテイク　アウトプット

グループ → Q&AG
- 回答プレゼン　＋　Q&A
- 他のメンバーのメモを取る

インプット　アウトプット

個人 → フィードバック
- メール
- 学習内容まとめワーク

インテイク　アウトプット

# 授業の

学び方
にフォーカス

見取り

期待

ファシリテーション

| | | | |
|---|---|---|---|
| 個人 | 単元G | • 担当ページをざっくり読む<br>• 気になる単語を書きとめる | |
| グループ | Q&AG | • ミニプレゼン<br>• 質問交換 | |
| 個人 グループ | 単元G | • 回答探し<br>• 情報のシェア | |
| グループ | Q&AG | • 回答プレゼン　+　Q&A<br>• 他のメンバーのメモを取る | |
| 個人 | フィードバック | • メール<br>• 学習内容まとめワーク | |

解放

感知

反応

アウトプット

確認

継続

プット

達成

# アセスメントの工夫

学びに向かう力を高めるために

# 学習指導要領改訂の方向性

## 新しい時代に必要となる資質･能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
**学びに向かう力・人間性等**の涵養

生きて働く**知識・技能**の習得

未知の状況にも対応できる
**思考力・判断力・表現力**等の育成

## 何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携･協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む
**「社会に開かれた教育課程」** の実現

各学校における**「カリキュラム･マネジメント」**の実現

## 何を学ぶか

**新しい時代に必要となる資質･能力を踏まえた教科･科目等の新設や目標･内容の見直し**

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など

各教科等で育む資質･能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

**学習内容の削減は行わない**※

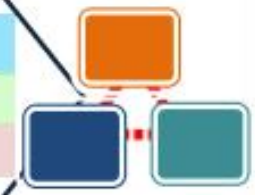
## どのように学ぶか

**主体的･対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善**

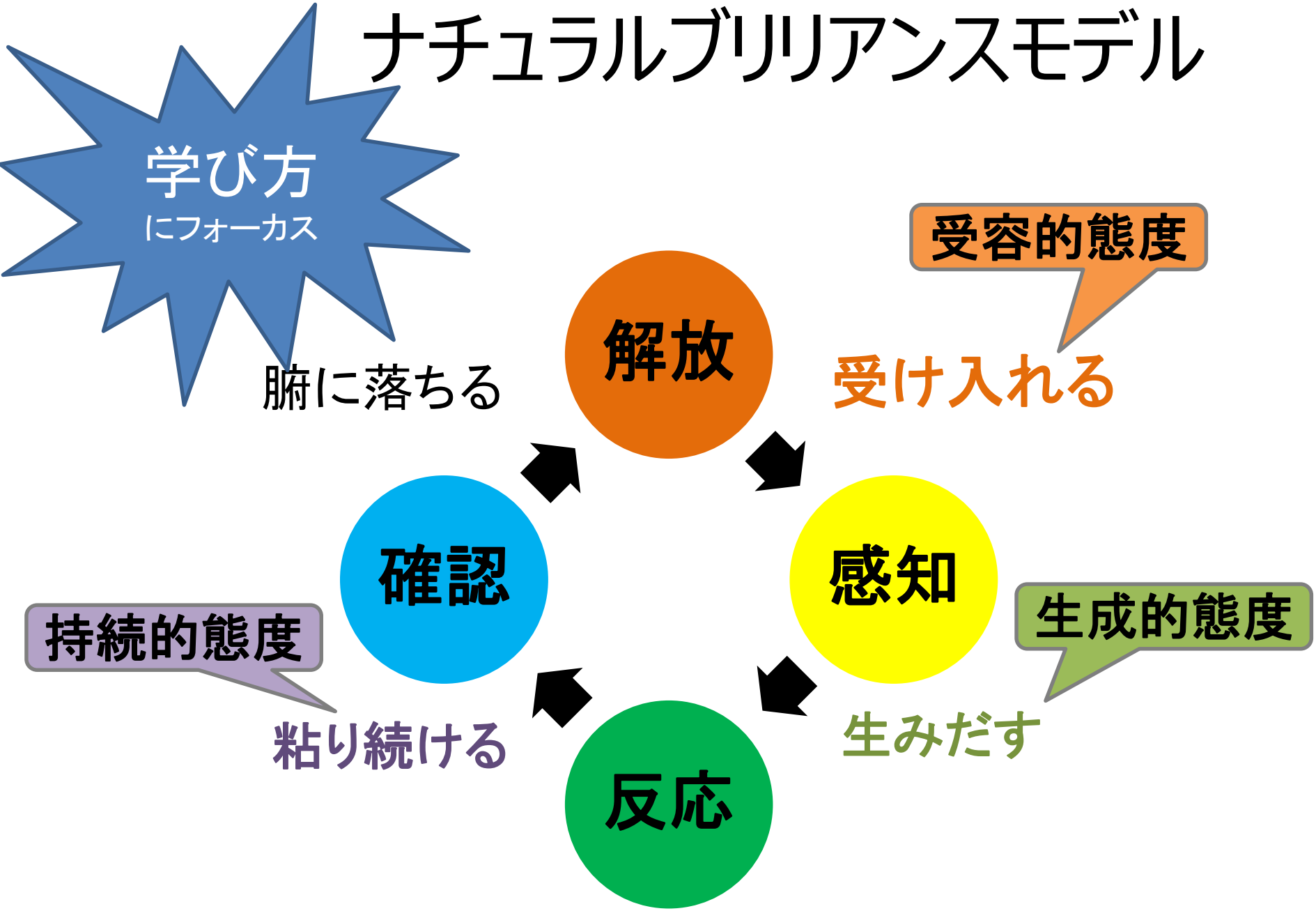
生きて働く知識･技能の習得など、新しい時代に求められる資質･能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び



# ナチュラルブリリアンスモデル



# 3つの態度

## 受容的態度

- 柔軟に考える
- 詳細に探求し，質問する
- 拡張された脳にアクセスする

## 生成的態度

- 複雑性を追求する
- フロー状態で追及する
- 独創的に創出する
- 細部にこだわる

## 持続的態度

- 勇気を持ってリスクをとる
- 想像する

# 3つの視点

自己
の視点

3つの
視点

場
の視点

他者
の視点

# 学びに向かう力にフォーカスしたアセスメント

## 自己の視点

- リフレクションメール
- ルーブリック
- ポートフォリオ

## 他者の視点

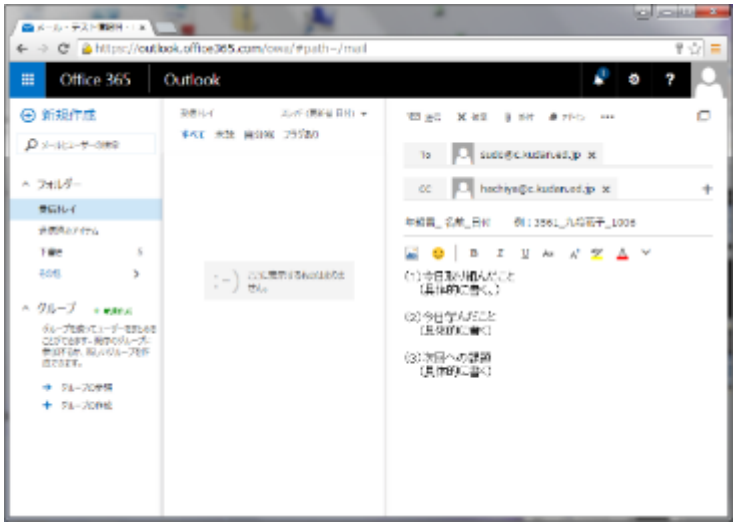
- 文書の相互・自己評価システム
- ほめほめカード
- スタンプード

## 場の視点

- ギャラリーウォーク
- ポスターツアー
- ポスターセッション

# 自己の視点

- リフレクションメール
- ルーブリック
- ポートフォリオ



# ルーブリック例

**3つの態度**

**持続的態度** **生成的態度** **受容的態度**

**21世紀型スキル**
**情報活用能力**

| | S | A | B | C |
|---|---|---|---|---|
| 2.ICTリテラシー（働くためのツール） | コンピュータのしくみについて、班で担当した分野の基本的な知識だけでなく、それぞれの分野の関連性も理解できた | コンピュータのしくみについて、自分の班の担当とほかの班の担当した範囲の分野の基本的な知識を得ることができた | コンピュータのしくみについて自分の班が担当した分野についての基本的な知識を得ることができた | コンピュータのしくみについての基本的な知識を得ることができなかった |

**学習内容**

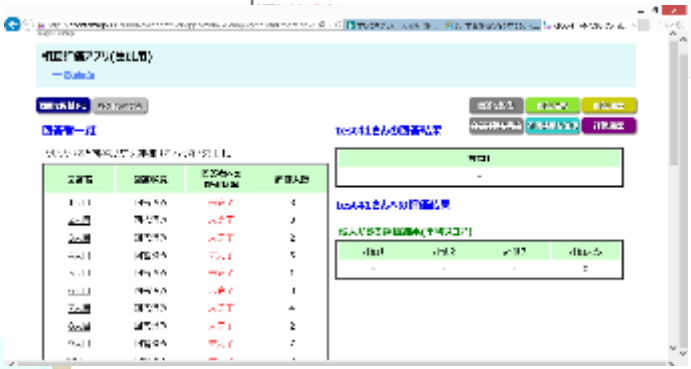
**粘り続ける、（外でも）使おうとする態度**

**生み出す、応用してみようとする態度**

**受け入れる態度**

# 他者の視点

- 文章の相互評価・自己評価
- ほめほめカード
- スタンプカード



# ICTを活用したアセスメント

## ルーブリック（PBL）

## 文章の相互評価

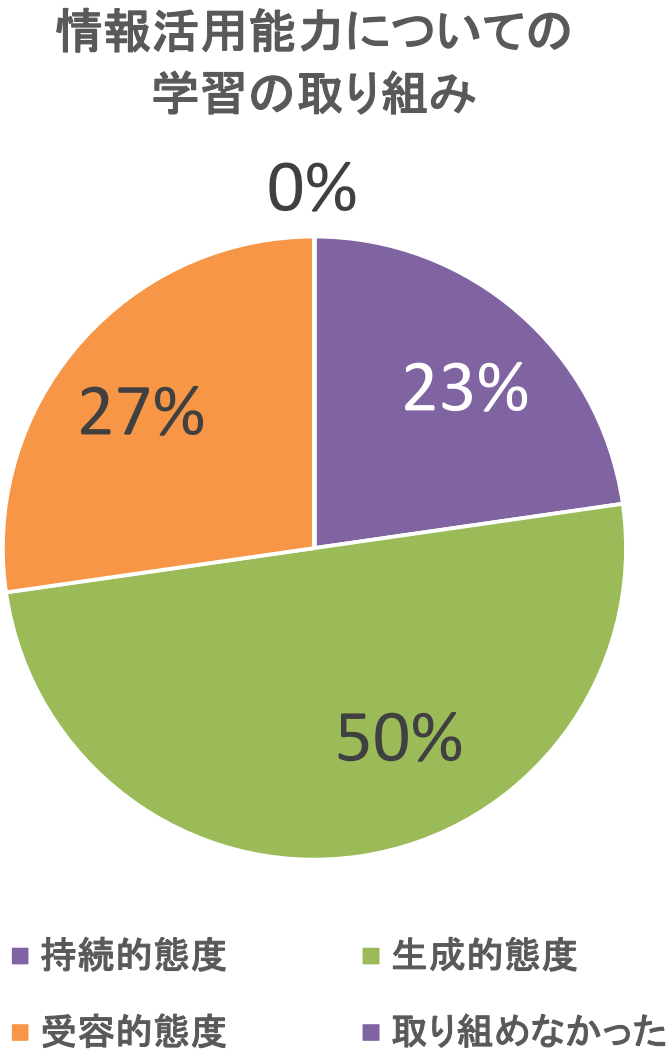
# 場の視点

- ギャラリーウォーク
- ポスターツアー

# 振りかえり

# 授業について

情報の授業は
どんな授業？




【情報活用能力】

・課題解決のアプローチを学ぶ授業。

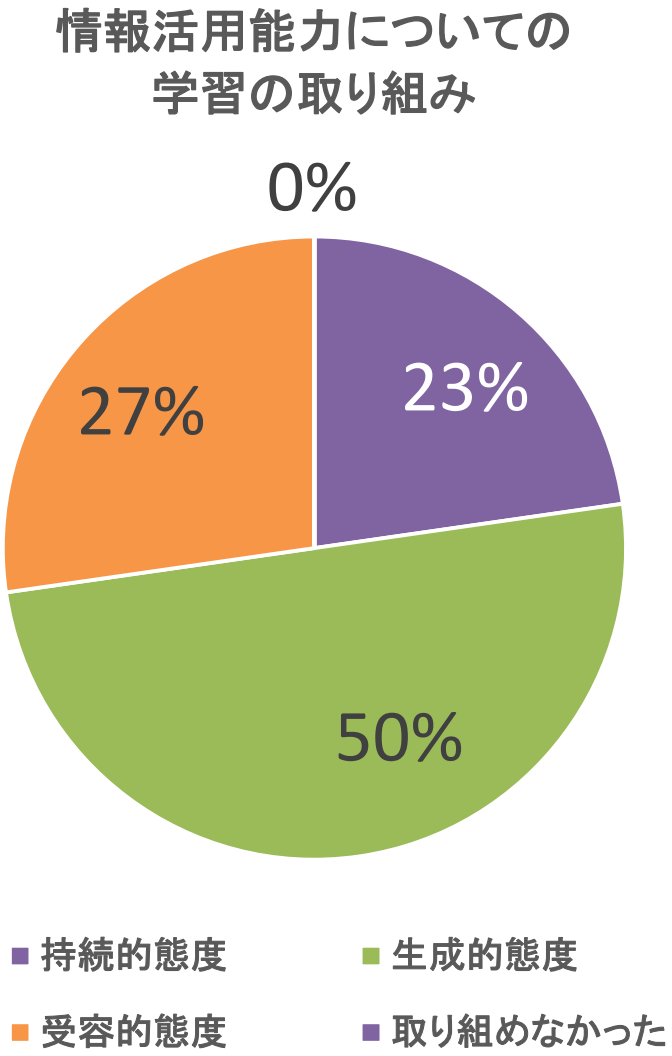
・情報の活用の仕方を学べる貴重な授業。

・自分の情報処理の方法を考え直すもの。

・パソコンの使い方を学びつつ、精神力をつけていく授業。

# 授業について

情報の授業は
どんな授業？




【主体的な学び】

・自分で考え自分で学ぶ授業。

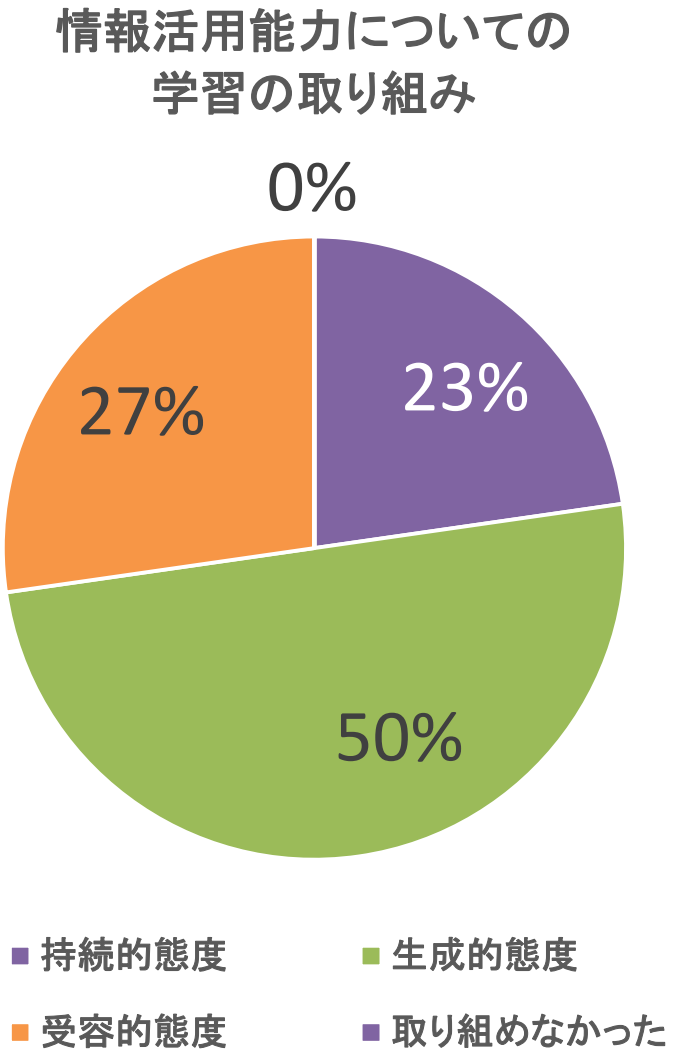
・自分たちが行動しながら学べる授業。

・体育のように、頭フル回転で大変だけど、けっこう楽しい授業。

・「自分から」学ぶことができる主体的な授業。

# 授業について

情報の授業は
どんな授業？




【対話的な学び】

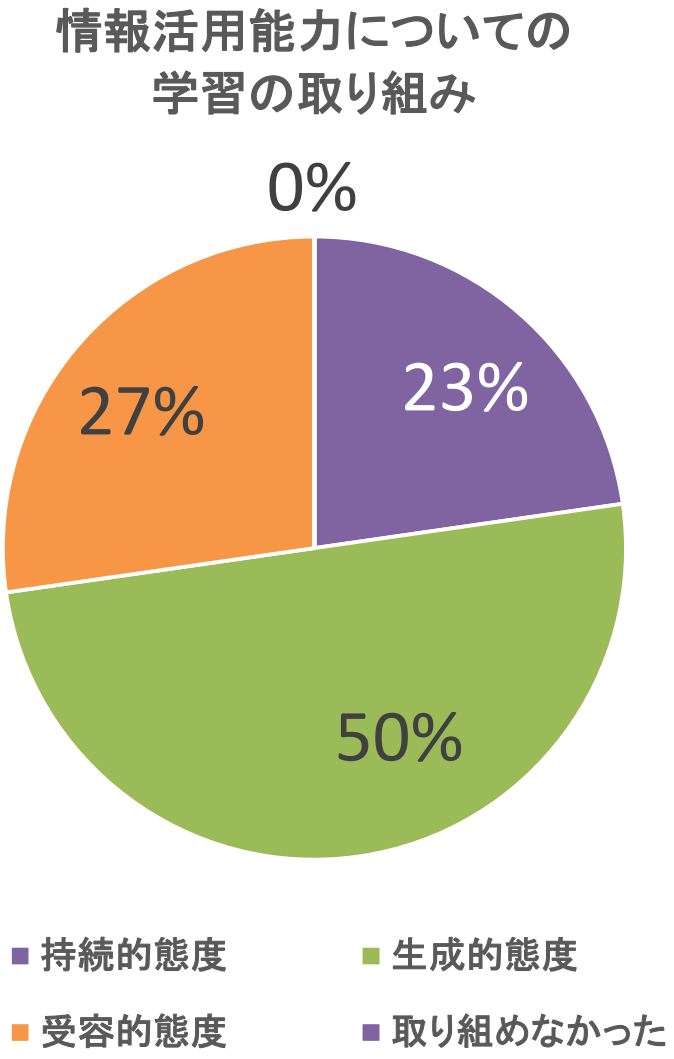
・新しい発見を自分やクラスメイトから学び、ほかの人の意見も聞ける授業。

・チームで情報の技術や知識を使いながら何かプロジェクトを達成する授業。

・難しいけど、みんなで協力することで、みんなから学べて、楽しい授業。

# 授業について

情報の授業は
どんな授業？




【深い学び】

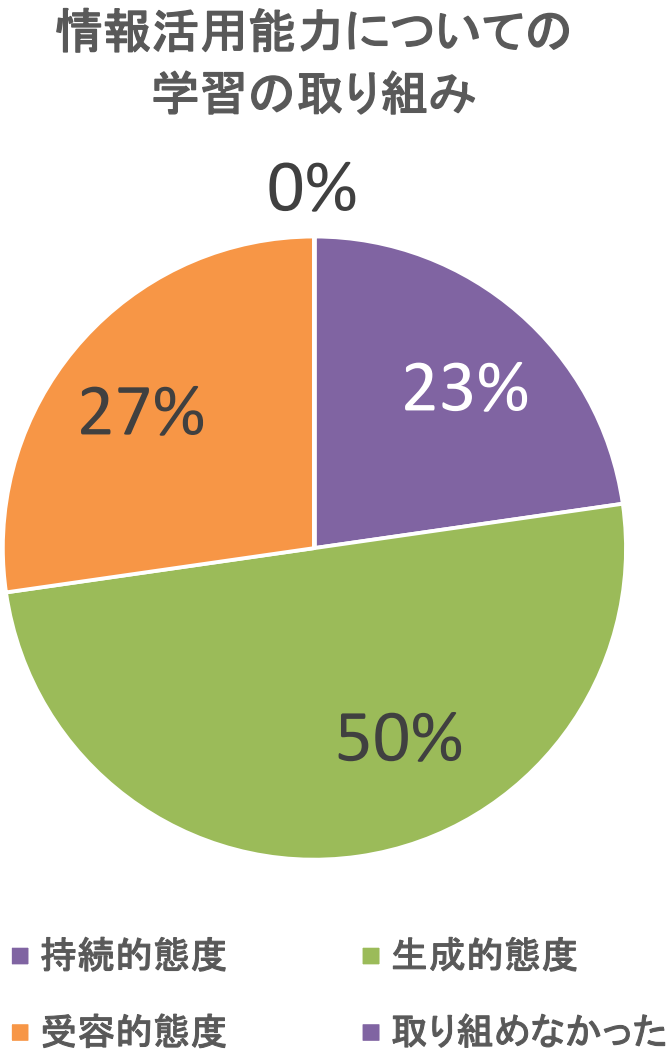
・大変だけど社会で必要な力を養え、達成感を得られる。

・今学校で習っている教科の中で一番社会で役立つと思う実践的な授業。

・楽しくて一番他の教科の授業や日常生活にも活用、よい影響をもたらす授業。

# 授業について

情報の授業は
どんな授業？




【学びに向かう力】

・楽しくて、自分を成長させてくれる授業。

・学校の授業の中で一番頭を使うことを回避できない授業。

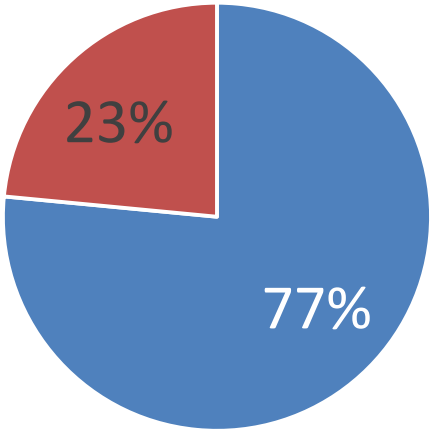
・疲れる授業→だけど一番役に立ちそうなことを学べる授業。

・なんだかんだでこれから必要になる技術を実践的に学べる場、授業。

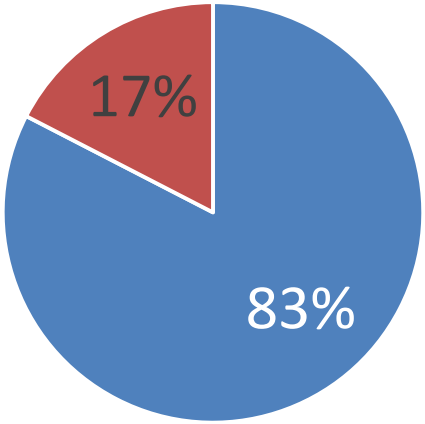
・社会の作り方を学んだ。

# リフレクションについて

評価する力は変化したか？

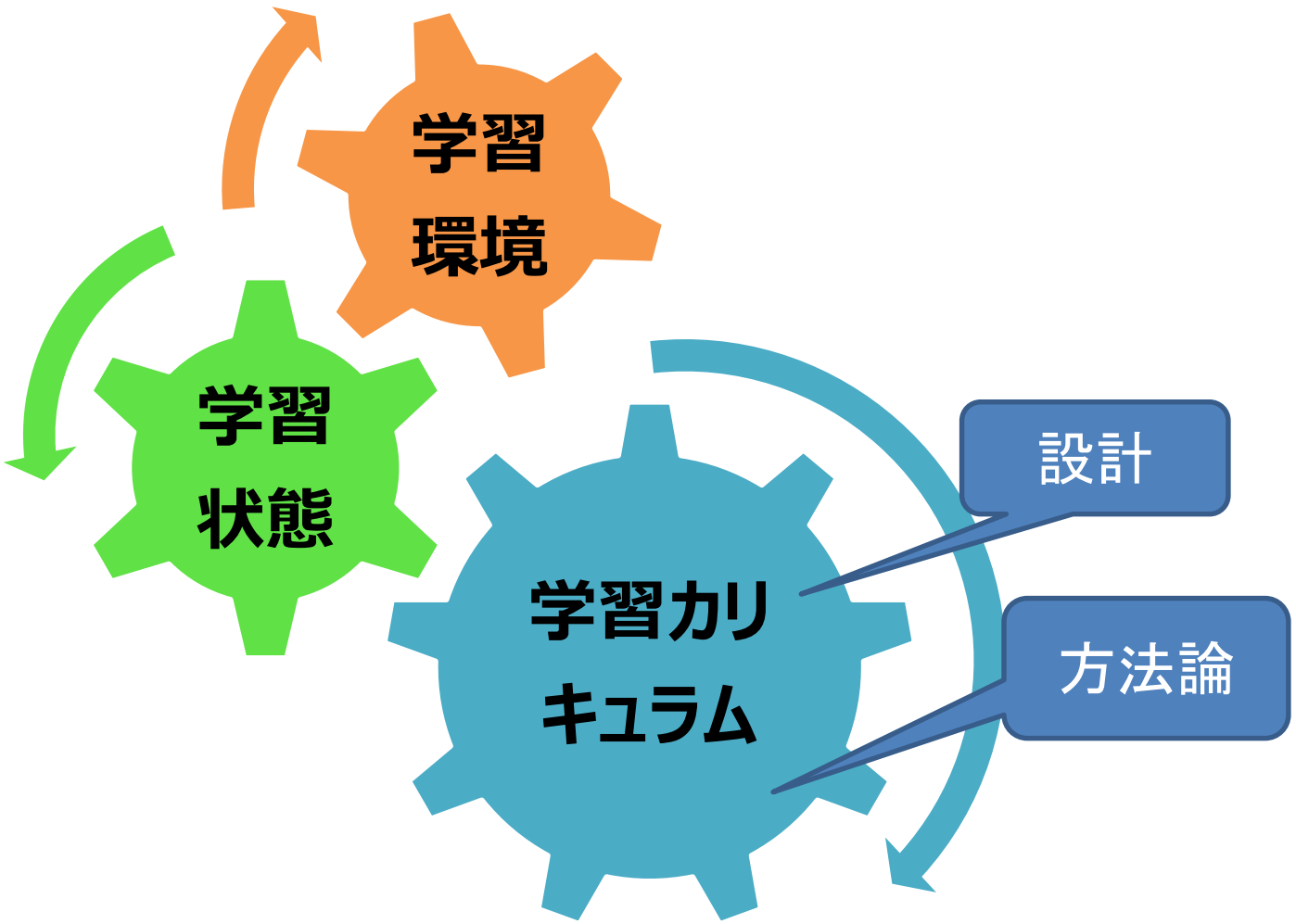



学びは変化したか？




| | 評価する力の変化 | 学びの変化 |
|---|---|---|
| YES | 客観的思考だけでなく、理解力も向上した。<br>毎回自分の活動を振り返り、評価の大切さを感じられたから。 | 客観的思考だけでなく、理解力も向上した。<br>次の授業で、何を改善したらいいか考えてやるようになった。 |
| NO | 特に変わらないと思った。ただ自分のことを客観的に見るだけだったから。<br>適当にやるときもあったから。 | 時間なかったけど、今日やったことは思い出せた。<br>あまり変わらなかったから。 |

# 学び方を学び
# 自ら学習する「学習者」を育てる



ご清聴
ありがとうございました